

論文オリジナリティチェックツール「turnitin」の導入について －ユーザー説明会開催のお知らせ－

標記の件、研究推進社会連携機構では、2016年度より論文オリジナリティチェックツール「turnitin」を導入します。つきましては、下記のとおり、ユーザー説明会を開催いたします。各研究科等におかれましても、ご周知いただければ幸いです。

記

1. 本ツール導入の目的、期待される効果

- 外国語紀要等（研究者が発表する各種論文）の研究成果の質・信頼性の向上のため。
- 研究者が“自主的”に論文をチェックすることができ、研究倫理の意識の向上・醸成につながる。
 - ⇒出版社への入稿やポズトリ掲載等で学外に公開される前のチェック
 - ⇒自己防衛（意図しない研究不正の防止、共著者確認、参考文献引用漏れの確認、自己盗用防止）
 - ⇒教員のチェックに要する負担軽減により、教育・研究の質向上
- 本ツールは教育・研究の指導ツールとしての機能をもっており、学内関係部局との連携のもと、教育面での活用を含めた展開が見込める。

2. 概要

- 名称：「turnitin（ターンイットイン）」 <http://turnitin.com/ja/>
論文チェックや文章作成スキル教育のオンラインツール。研究者の論文やレポートを独自のデータベースやWebと照合し、不適切なコピーアンドペースト等、剽窃・盗作が懸念される箇所を可視化。提出物へのフィードバックや成績・評価、学生同士のピアレビューもオンライン上で可能。本学の交換留学等協定校でも導入実績があり、世界的な教育・研究インフラとなりつつある。
- 試用期間：2016年2月中旬以降運用開始
- 本稼働：2016年4月1日から
- 対象者：3,000名分のアカウントが発行可能

3. ユーザー説明会

- 日時：2016年2月23日（火）12時45分～13時45分
- 場所：西宮上ヶ原キャンパス本部棟2階会議室4（遠隔：神戸三田キャンパス1号館第1会議室）
- 内容：（予定）導入経緯・目的説明、「turnitin」概要説明、機能・操作説明、質疑応答、スケジュール紹介、アカウント発行受付、マニュアル、FAQ配布など

4. 今後のスケジュール

- ユーザー説明会：2016年2月23日（火）12時45分～13時45分
※ 2回目も開催予定。現在日程調整中（調整後、別途所属事務室経由でお知らせいたします）
- アカウント登録作業：2月中旬～（ユーザー説明会開催以降）
- 本稼働：4月1日～（予定）
- 導入後説明会：4月中旬以降（学部・研究科等の要望でスケジュール調整次第実施予定）

5. お問い合わせ

研究推進社会連携機構（担当：白坂） ※メールでお問い合わせいただければ幸いです。

メール：kg.turnitin@kwansei.ac.jp

以上